



定価 一部全紙一ヶ月五拾五圓 郵費五圓
廣告料 五圓以上 一ヶ月五拾五圓
日曜 祭日の日 休刊
発行所 磐城 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

子の年に困んだ 童話二篇(三)

樫葉 勇

『笛吹き爺さん』

(二)

それから笛吹き爺さんは町に出て笛を吹き始めました。實にへんてこな音でした。ところがどうせう。この笛の音に誘はれて、あつちの家からもこつちの店からも、たぐさんの鼠がとび出して、それがあとから／＼と行列を作り、お爺さんのあとについて来ました。笛の音が高くなればなるほど鼠の数が多くなりました。笛の音に合わせて、鼠たちはおどりをしながら、やがて大きな川の岸まで来ました。お爺さんは急に立ち止まりました。でもおどりがながら進んで来た鼠たちは急に止まることが出来ないで、川の中に飛びこみました。あとからあとから何萬何十萬といふ鼠がみんな水に溺れて、一匹残らず死んでしまいました。

『さあ、鼠がなくなりました。お約束通り千圓いただきますせう』
お爺さんは町長さんのと

ころへ行くつて、お禮を貰はうとしましたが、町長さんは首を横にふつて『飛んでもない、千圓どころか五百圓も上げられませんか。まあ、五圓なら上げませう』
『いえ、千圓より一錢でも少くは困ります。約束ですから』
『五圓よりやれないよ』
もう鼠がなくなつたのですから、町長さんは千圓のお金を出すのが惜しくなつたのです。町の人たちもやつぱりさうでした。

『どうしても千圓下さらなければ、又笛を吹きますよ』
『勝手に吹きなさいがやうに』
お爺さんは怒つて町に出ました。そしてさつきとはまるでかばつた音を吹き始

めしました。すると町中の子供たちが、このふえの音にさそはれて飛び出して来やした。そしてぞろ／＼お爺さんのあとに行列を作つてついて来ました。面白さうにおどりがながら、どこまでもついて行きます。町長さんも町の人たちもびつくりしました。
『止まれ、ふえをやめろ』
と、どなりましたが、お爺さんはちつとも止らずに

吹きつづけます。子供たちの行列はどこまでもつづきます。いくら呼び戻さうとしてもちつとも聞えぬふりをして……
とう／＼小さい丘のところにまでくると、そこに大きな岩の戸が開いて、お爺さんも子供たちもみんな中に入つてしまいました。みんな入つてしまつたと思つたら、岩の戸がびつたりしまりました。お爺さんや子供たちはどこへ行つたか町の人たちがどんなに探してもわからなかつたといふことです。

文藝募集

……

美味！ 芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

◇サービス自動車
團體廿人以上にはお迎ひの自動車を差上げます。(北は平町、南は植田町まで)

新年 御宴會

毎度格別の御最負いたゞき難有く御禮申上げます
愈々年末新年の御宴會季節と成りましたので忘年会新年宴會の御下命賜り度 團體様には徳用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申上げます

松印	3.50	御會席七品付(外果物御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料 共一式 サービス料
竹印	3.00	御會席六品付(外果物御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料 共一式 サービス料
梅印	2.50	御會席五品付(外果物御飯香物) 藝妓花代、御酒、入浴料 共一式 サービス料

但十人様以上ノコト 藝妓ハ五人様毎ニ一人二時間(松印ニ限リ半玉十人様ニ一人付) 御酒ハ御一人銘酒二本ツメノコト
◇御申込は時節柄なるべく至急下記へ

お問合せは 電話(小名濱) 103番 通話料は弊館にて負擔いたします

小瀧 鑛泉 瀧の湯旅館 電 103 番 割烹部

磐城セメント會社特約店

原齒科醫院

平町土橋通り 電話三一〇番
院長 原 精一

良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は生命なり

時代の要求——皆様の足？

尼子タクシーへも豆タクが入りました
御立關から立關へ 迅速簡便 是非御利用を

市内 三〇錢
市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス

宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目 尼子自動車商會 電話六四〇番

日本精神を

選挙に反影する

肅正運動強化の爲めに

同盟會を結成して活躍

郡内各町村長の第二次選挙 肅正運動實施強化打合せ會 は昨七日平町會議室に行は れた結果、来る十二日各町 村に於て肅正委員會を開催

引續き各部落實行

内に於て中堅人の肅正懇談 會を開き、肅正運動殊に自 發的肅正機運醸成のため同 盟會を結成して、特別に棄權 防止等の特殊施設に就いて 適當な方法を構する一方

講演會を開催

徹底を圖り、有権者以外青 年團、婦人會等に参加せし める外小學校、中女學校生 徒の書方、圖畫、綴方作品 を家庭に回覽させることも 計畫、肅正デー祈願祭は此 前通りに

各町村に於て執行

れるが投票當日は警鐘、サ イレン、梵鐘、大鼓等を一 齊に鳴らし且つ花火を打上 げて一般有権者の注意を喚 起することになつた

肅正指導

講習會順席

既報十日の縣主催三郡選 舉肅正指導者講習會は島田

警察部長、諸橋學務部長が 臨席し左記順序で開かれる が講師は選挙肅正中央聯盟 に交渉中であると

一、皇居遙拜

一、國歌

一、憲法發布勅語奉讀

一、知事訓示

一、講義
一、衆議員議員選挙を目 標とする肅正運動計 畫

一、今後に於ける肅正運 動の重点

一、部落懇談會開催に就 いて

遅れた工事

一舉に解決

小林所長の意氣込み

七八九三ヶ年度に於ける郡 内時局救済町道補助工事 は進捗意外に遅れ、現在ま で全體の三分の一完成した のみであり未だ二十八ヶ町 村、四十三路線、概算廿餘 萬圓の未了箇所があり何れ も急を要する工事の爲め平 土木監督所では本年中に完 成を意圖してゐるがこの遅 れた原因は海岸地方の築港 工事に主力を盡した關係か らで縣道としても應急措置 を要する個所卅ヶ所約卅萬 圓の巨額に上つてゐるので 小林所長は東北振興會の手 を經て之が工事着手を圖る

本局が

負けた

切手數賣上

平郵便局及び郡下三等局が 舊臘中に賣捌いた切手印紙 の總額は五萬一千八百八十二 圓一錢であるが新川町局の 八千八百八十五圓が最 高、二位は紺屋町局の五千 八百六十五圓八十錢、肝心 の平本局は五千八百四十五 圓三十八錢で第三位の順で あると

第一區の區議 平町

第一區(長橋、新町)にては 此程區會議員改選の結果左 記の如く決定した

小幡留次 小野園次郎 高子敦藏 遠藤林藏 關 勝茂 山田榮松 川崎文 治 關内信次郎 高木喬 遠藤松之助 小菅榮之助 遠藤柳之助

書初會の入賞者

昨日マルチモ樓上の賑ひ

眞清書道會及び浪越書道會 聯合の書初會は昨日午前九 時より九トモホールに開催 少年部の會員達の參集が多 い事と頗る盛況を呈し、 大人も及ばぬ達筆を揮つて 辻峰月氏其他が審査の結果 入賞左記の如く決定、夫々 褒美を抱いて大喜び記念の 撮影を濟し日暮る頃まで茶 話會に賑ひを見せた

天賞 飯沼美恵子
地賞 宮川 幸子
川崎 繼男
山崎 慶一
猪狩 優子
堀江 和子
(褒状)佐川行子 水野知 恵 飯沼俊子 勝見米子 小野健次郎 鹽坂幸子 千葉文彦 市原恵子 吉 田實夫 谷口カツ子 (一般の部)一等鹽坂梅月 二等川友初子 三等吉田 靖子

正月早々

水道給水

江名町の喜び

江名上水道は既報の如く工 費十二萬五千圓を以つて敷 設中のところ舊臘卅日を以 つて全工事完成を見、全町 喜びに溢れてゐるが竣功落 成式は二月十一日頃盛大に 舉行される筈

錦村俵米品評

俵米品評會は同村農業倉庫 に六、七兩日開催、本八日 審査を終了、明日九日授與式 を擧げると

堀江工業總會

堀江工業株式會社株主總會 は明日九日午前十時より同會 社樓上に開くが配當は一割 の見込み

看護婦を表彰

南町清野看護婦會の松崎春 子さんは豊間村隔離病舎に 派出看護婦として勤務中五 十餘日の間重態の病人に對 し献身的努力を續け遂に 回復させたので同村々長鈴木 藤治郎氏から感謝狀を贈 らる

平町人事

回死

△大館三三鈴木ヨシ子さん (二ツ)

夜間診療

胃腸病 専門

内科 胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科

松村 胃腸性病院

(番七〇一町南町平)

来ました!!!皆様の待兼ねの便利な糸イラズ!! お召物の御繕ひに助ります。

新時代に適合せる經濟的重實な家庭必需品を發賣 裁縫代用

糸イラズ

(一名針イラズ) 一家一重寶

◎三越・白木屋で非常に大好評のイトイラズ即ち糸針を用ひず、織物布類の縫合せ(繕ひ)が出来る…… (然し針で出来ない事が出来る)

靴下、シャツ、足袋、毛織物、股引洋服、オーバートンビ等の穴アキの繕ひ

特徴

- 何回洗濯しても離れる事なし
- 伸縮自在(メリヤス等にもよし)人無害
- 硬化する事なし(コバガラス)
- 耐水、耐熱、耐酸、耐寒、耐鹽にして(イトイラズ)裁縫代用液は多年研究し完全無欠の確信を以て發賣せるものなれば絶対に他の追従を許さざる事を自負す。
- イトイラズは本舖にて絶対責任を負ます。
- ニセ物あり御注意願ひます。

定價 特別用品……… 203050
實用用品………

福島縣平町古銀治町一〇縣社下
代理店 **阿康藥局**
電話 四四番
振替東京三〇五番

特約店募集す 早い勝ち

轢き逃げの犯人が判明

無免許助手が運轉の結果

昨報五日夜内郷村大字級地内國道で同所日雇業江川兼三郎(三)を轢き倒し逃走した自動車に就いては有力な容疑者として内郷村級前薄葉自動車部運轉手星義勝(二)並に同助手大橋登(一)假名を取調べ中であつたが同時に同所を通行した確證を突きつけられ遂に七日夕刻に至つて前記轢き逃げ

運轉手自首

四倉の轢逃げ

貸切運轉中の事故

昨報四倉町新町地内國道に於て久之濱町宇流夫遠藤松吉(三)を轢き逃げした運轉手は七日久之濱町南巡査駐在所に自首した

右は四倉町宇東町自動車業酒井忠吉方運轉手四倉町生れ田邊才治(二)で同日貸切車を運轉中の事故である

平商友の新年宴會

新築促進協議

平商友會恒例の新年宴會は今日午後六時より田町末

交換姫が命の洗濯

新年會に餘興

町方面委員助成會へ金五百圓也を寄附した

無智な男の危い火遊び

火薬庫放火自白

昨報勿來町宇酒井大日本炭礦火薬庫附近に放火した犯人は同事件を重大した植田署が極秘裡に嚴重捜査中

ダイナマ窃取の目的は語らない

事態を重大視し引續き嚴重な取調べ

内郷村生れ當時住所不定土工前科一犯本田勇之助(四)山形縣新庄町生れ前科一犯加々美力(三)の兩名は舊臘廿八日午後一時頃双葉郡龍田村大字大谷地内發電所工

明日のラジオ 九日

今晚の部 後六〇〇長唄「小鍛冶」

明日の部 後九、三〇時報 ニュース

逃げ場を失つて老人が焼死

勿來町間田島初太郎(六)氏方から七日午前五時頃發火し同家一棟を全焼、初太郎氏は逃げ場を失つて焼死した、原因調査中

井上校長叙位

尋常高等小學校長井上純氏は此程正八位に陞叙された

四倉方部品評

大野、大浦三ヶ町村聯合農産物品評會は来る十四、五兩日大野村農業倉庫で開く

平裁判たより

△東京市目黒區上目黒四丁目二一八七料理職吉田忠雄(三)が去月廿五日午前二時頃内郷村宮字竹の内警炭役員合宿所内に忍入り同所渡邊勝義氏の羅紗オーバー一着(價格十四圓)及び磯貝四郎氏のクローム腕時計價格十圓を窃取し湯本三質屋業江尻タツ方へ金七圓で質入した外一件の同様窃盜を働

井坂醫院 平町・田町 電話五五九番

藤沼醫院 平町・紺屋町 電話五〇七番

市原醫院 平町・四町 電話一四四番

瓦解の設計

(著上談上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(畫)



一八 更に一大陰謀

吉野政助は安藤閣老をも斬らねばならぬと、この事を三島三郎に申し聞かして政「貴公の云ふ通りヒュー・スケンを斬りしとは異り、安藤侯は登城致す時は五十人六十人の供もありまた井伊大老が討たれて以来老中共は一居供方を堅固に致した、しからば少くとも十人居らば討つことはなるまい、この同志を集めることに就いては申すこともあるそれは今夜吉原の妓樓で談ずるであらう、吉原へ同道しろ」

三「ウムさうか、それでは廊に参ることに致さう」

打ち揃つて吉原へ来たが角町の佐野榎といふ遊女屋に上つた、秘密の協議はかういふところがよろしい、静かなところにて密談すると目を着けられる、吉原の遊女屋で時の老中安藤對馬守を殺すことについて協議をするとは人は気がつかない。今日も政治事上のことについて折々待合に會合して議論を聞かす、して見れば日本の政治は待合から流れ出る、既に幕府を仆すことについて諸藩の有志は京

た淺田義助、高島萬藏、内田萬之助、それに水戸の浪人で細谷忠齊、これらのみな今の世に得難き人物である、拙者はこれらと交際致し居る故彼等の意中も存し居ればまたその人となりも知つて居る、この人々と共に大事を擧げなば萬に一つも爲損ずることはあるまい」



三「左様か、然らばその人々に面會して協議を致すであらう」

三郎を部屋に呼び政「今女が居らぬからこゝで拙者の意中を打ち明けるが、安藤侯を討つについては先刻も申した通り少くも十人を要する、それもみな決死の士であらねばならぬ越後の人で豊原邦之助やま

まい」

三「成る程、それではその細谷のもとへ参つて彼の意見を聞き、またわれ／＼の意中をも述べたであらう」

政「しかし二人打揃つて細谷のもとに居ることにはなるまい、一時何れにか浪宅をかまへずばなるまい、それに町人に姿をやつして忍び居るがよい、大小を佩して居つては危険だぞ」

三「イヤそれは拙者も心得て置く」

そこで種々相談した、ところへ女が来たから三島は相方の部屋に引き取る、翌朝吉原を出て吉野政助と共に深川入名川町に居る細谷忠齊のもとを訪うた、この細谷は水戸の家臣であつたが當時は浪人、水戸の家來は幕府で櫻田の一件以來眠んでゐます、それ故忠齊は醫者に化けてゐる、しかし怪しい醫者ではない、醫道に關しては豊富な知識もあり又病人に接するも至つて親切、それですから朝から夜まで玄關は薬取りの絶えたことがない、かういふわけで人出入りも多い、こゝへ来て吉野政助と三島三郎が安藤閣老を討つことについての意見を述べた。

勢の地位をつかひためではない、一筋にこの國のためを思ひ命をすてゝこの大事を執行する、しかし幕府に取つてはおそろしい毒物です、安藤侯も自分の身の危険なることは知つてゐますから大いに警戒いたし居る

冬の通學服賣出し

中學用 六号 四四〇〇
國防色 七号 四四二〇

黒小倉服 A六号 三三〇〇ヨリ
特A六号 三三八〇ヨリ

別注文 國防色 五五〇均一
特A黒小倉 六六二〇均一

平電 302 店服洋やかふ

店主が店員	を連れて行	か	れ	る
正	シ	イ	食	堂
正	シ	イ	喫	茶
正	シ	イ	酒	場

平・田町
レストサロン
電三五二番

お年始のお客様に
さしみと御飯 吸物おしんこ付
魚清のサービス

二十五銭
三品 五十せん
五品 八十せん

平ニ警察署通り
魚清食堂
電話六三三

看護婦急派
求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七

福島縣平町二丁目
西村屋藥舖
藥劑師 鈴木堅助
電話 三三三番
振替(東京六・二九九
仙臺一・二〇一